



青 藍

創立 147 年
瀬戸内町立篠川小中学校
令和8年2月26日(木)

暦と季節を感じる心(節分・立春・啓蟄)

八木 修一

私たちが毎日見ているカレンダーは太陽の動きをもとにした「太陽暦」で1年を365日(うるう年は366日)とする世界共通の暦(グレゴリオ暦)です。明治6年(1873年)からこの暦が使われるようになりました。一方、日本には昔から、太陽の動きをもとに一年を24に分けた「二十四節気」という季節の捉え方があります。立春、夏至、秋分、冬至などは今でも耳にする言葉です。二十四節気は日付よりも自然の変化に目を向け、「そろそろ春の準備」「田植えの頃」と暮らしと結びついてきました。便利な今の暦を使いながらも空の高さや風のやわらかさ、草花の変化に気付く心を大切にしたいものです。季節を感じることは心を整え、毎日の生活を豊かにしてくれます。

2月から3月にかけては「二十四節気」の中でも、大きな節目が続きます。まず、「節分」です。「節を分ける」と書く通り、本来は季節の変わり目を表す言葉で、立春の前にあたります。古くからこの日は、季節の変わり目には邪気が入りやすいと考えられ、豆まきをして災いを払う風習が生まれました。「鬼は外、福は内」という掛け声には外の鬼だけでなく、自分の中にある弱い心や甘え、怒りや怠け心といった「心の鬼」を追い出そうという願いも込められています。1年のまとめの時期だからこそ、自分自身を振り返り、新しい気持ちで次の一步を踏み出す準備をする時期です。

そして「立春」。暦の上ではこの日から春が始まります。実際にはまだ寒い日も多いですが、日差しの明るさや日の長さ、吹く風のやわらかさに、少しずつ春の気配を感じる事ができます。目には見えなくても、自然は確実に前へ進んでいます。子どもたち一人一人の成長も同じです。毎日の積み重ねは小さく見えても、確かな歩みとなって力を蓄えています。

さらに、3月上旬には「啓蟄(けいちつ)」を迎えます。「蟄(ちつ)」とは、虫が土の中にこもること。「啓」はひらくという意味です。冬の間じっと土の中で力を蓄えていた虫たちが、春の訪れとともに地上へ出てくる頃とされています。自然界の生き物たちが動き始めるように、私たちもまた、新しい学年や新しい目標に向けて動き出す時期です。

一年の締めくくりと新しい始まりが重なるこの季節。自然のリズムに学びながら、子どもたちが自分の心の中の春を見つけ、希望をもって次のステージへ進んでいくことを願っています。

二十四節気

節気	いつごろ	意味の目安
立春 <small>りっしゅん</small>	2月 4日	春の始まり
雨水 <small>うすい</small>	2月 19日	雪が雨に変わる
啓蟄 <small>けいちつ</small>	3月 6日	虫が土から出る
春分 <small>しゅんぶん</small>	3月 20日	昼夜ほぼ同じ
清明 <small>せいめい</small>	4月 5日	清らかで明るい
穀雨 <small>こくう</small>	4月 20日	穀物を潤す雨
立夏 <small>りっか</small>	5月 5日	夏の始まり
小満 <small>しょうまん</small>	5月 21日	草木が茂る
芒種 <small>ぼうしゅ</small>	6月 6日	種まきのころ
夏至 <small>げし</small>	6月 21日	昼が最も長い
小暑 <small>しょうしょ</small>	7月 7日	暑さが始まる
大暑 <small>たいしょ</small>	7月 23日	最も暑いころ
立秋 <small>りっしゅう</small>	8月 7日	秋の始まり
処暑 <small>しょしょ</small>	8月 23日	暑さがやわらぐ
白露 <small>はくろ</small>	9月 8日	露が白く光る
秋分 <small>しゅうぶん</small>	9月 23日	昼夜ほぼ同じ
寒露 <small>かんろ</small>	10月 8日	露が冷たくなる
霜降 <small>そうこう</small>	10月 23日	霜が降り始める
立冬 <small>りっとう</small>	11月 7日	冬の始まり
小雪 <small>しょうせつ</small>	11月 22日	雪が降り始める
大雪 <small>たいせつ</small>	12月 7日	雪が本格化
冬至 <small>とうじ</small>	12月 22日	昼が最も短い
小寒 <small>しょうかん</small>	1月 5日	寒さが厳しくなる
大寒 <small>たいかん</small>	1月 20日	最も寒いころ

豆まき集会 2月3日(火)

豆まき集会では、それぞれが紙に書いた退治したい「心の鬼」と「退治するためにやること」を発表した後、黒板に張り、豆を投げました。鬼は「ねぼすけ鬼」、「字が雑鬼」、「姿勢が悪い鬼」、「あきらめ鬼」、「おそおき鬼」、「スマホ鬼」、「夜ふかし鬼」、「画面見すぎ鬼」、「面倒くさい鬼」、「字が汚い鬼」でした。



一日遠足・フィールドワーク 2月6日(金)

今年は、龍郷町にある「夢おりの郷」に行き、大島紬工場を見学しました。そして、実際に泥染め体験をして、エコバッグを作りました。泥染めは、世界中で奄美大島だけでおこなわれている天然の染色方法です。シャリンバイに含まれているタンニン酸色素と泥田の中の鉄分等が化学結合を85回以上繰り返すことにより、色落ちしない深く光沢のある渋い黒色に染まります。子どもたちはエコバッグの素材を輪ゴムで縛ったり、洗濯ばさみで押さえたりして染まらない部分を作っておき、数回、シャリンバイの汁と石灰水で交互に染めた後、泥田の中で染めて完成させました。



高齢者表敬交流会 2月14日(土)

地区センターで、毎年恒例の高齢者表敬交流会を行いました。子どもたちは島唄三味線を披露した後、オセロ、けん玉、お手玉、折り紙などをしてとても楽しく交流しました。中でも一番盛り上がったのはナンコの真剣勝負でした。今年は子どもたちが育てた「古志大根」を一人一人に手渡しました。「古志大根」の栽培に5年前から取り組んできており、昨年まで給食センターに提供していましたが、今年は地域の高齢者の方々にお配りしました。味はいかがだったでしょうか。



第72回 篠川中学校卒業式

日時 令和8年3月11日(水) 10:00~(9:50までに体育館にお越しください)
場所 篠川小中学校体育館

地域の皆様のお越しをお待ちしております。



3月の行事予定

2日(月) 卒業式練習	10日(火) 卒業式会場準備・練習
3日(火) 全校朝会	11日(水) 中学校第72回卒業式
島唄・三味線教室	12日(木) クラブ活動
4日(水) 公立高校入試(~5日)	13日(金) ALT来校日
6日(金) 卒業式予行 かけはし号	16日(月) 生徒会
9日(月) お別れ会	17日(火) 委員会・代表委員会
	19日(木) 校区合同送別会(予定)
	24日(火) 小学校6年生最終登校日
	25日(水) 修了式 大掃除 辞任式